

幼稚園で歌われている歌について
— 実習生に対するアンケート調査から —

福 井 昭 史

About the songs that are sung in kindergarten
— From a questionnaire survey of students —

Akifumi FUKUI

長崎女子短期大学紀要 第49号 令和5年度 別刷

Reprinted form

Nagasaki Women's Junior College Annual Report of Studies, 49 : 64 - 68

2024

研究報告

幼稚園で歌われている歌について

—実習生に対するアンケート調査から—

福 井 昭 史

About the songs that are sung in kindergarten

— From a questionnaire survey of students —

Akifumi FUKUI

1 はじめに

長崎女子短期大学幼児教育学科には、声楽及びピアノの実技を主とする2年生対象の科目「子どもの歌と伴奏法」があり、この科目では以前より幼稚園や保育園等で歌われる生活の歌や季節の歌など子どもの歌の弾き歌いを実技試験の課題として課している。保育士として就職する学生の将来に対する配慮と考えられる。

ところが、授業の教材楽曲が幼稚園などで現在歌われている歌の実態と合っているかが定かでないため、その実態調査を考えていた。

2 研究の経緯と経過

望ましい調査としては、幼稚園に対して直接聞き取りやアンケートをするなどの方法であるが、まず、幼稚園や保育園での実習後の学生に対して以前より実施してきたアンケートを考察することとした。

(1) 研究の発端

研究の発端は、幼稚園実習後の学生アンケートのうち当時最も新しかった令和3年10月の集計である。その分析からは、本学の教材楽曲は幼稚園での実態と概ね合致するものの、歌われていた割合が高くないものも含まれていることが明らかになった。

表1は集計結果の一部で、アンケート総数56の

〔表1〕2021年10月の幼稚園実習での歌

令和3年度 10月 幼稚園 (56園)			
順	曲 名	数	%
1	とんぼのめがね	36	64
2	どんぐりころころ	33	59
3	まつぼっくり	26	46
4	やきいもグーチーパー	25	45
5	大きな栗の木の下で	22	39
	おかえりのうた	22	39
7	おはようのうた (すずめ)	21	38
8	おべんとう	17	30
9	さよならのうた	14	25
10	おはようのうた (先生)	12	21
	にじ	12	21
12	とけいのうた	11	20
13	いもほりのうた	9	16
	運動会の歌	9	16
	きのこ	9	16
	さんぽ	9	16
17	すてきなパパ	8	14
	山の音楽家	8	14
19	おかたづけ	7	13
	おばけなんてないさ	7	13
21	かたつむり	6	11
	小さいお手々	6	11
	はをみがきましょう	6	11
24	あめふりくまの子	5	9
	お帰りのうた	5	9
	きらきら星	5	9
	はじまるよ	5	9

うち、そのほぼ10パーセント、5園以上の幼稚園で歌われている楽曲を示している。上位10曲には、10月の実習であることから秋の季節の歌と、朝、昼食時、帰りの時間に歌われる生活の歌とが各々5曲程みられる。

この結果から幼稚園で歌われている歌のある程度の傾向はみられるものの、年度によって実習園や学生人数が異なることから、令和4年度以降のアンケートも集計することとした。

(2) 令和4年度以降のアンケートの集計結果

令和4年度以降の2年間についても幼稚園実習6月と10月の計4回のアンケートを集計した。

これについては、令和5年度に担当したゼミナールの学生に対する課題の一つとし、その集計と分析にあたらせた。

はじめに、アンケートが既に終了していた令和4年度について集計と分析を行った。

これまでの集計では、アンケートの設問に対する大部分の回答が記述式であるため、楽曲名やその用途が曖昧なものがあったり、同名の楽曲が数曲あったりするなどにより集計に問題が生じた。そこで令和5年10月からは予想される楽曲名と冒頭の歌詞を示した選択肢による新たなアンケートを作成し、それによる調査を実施した。そのため、楽曲名とその用途が明確になった。

それらの集計結果は、季節の歌などと生活の歌とに分けて分析した。

(3) 「季節の歌」等の集計結果

「季節の歌」等は6月と10月とに分け、それぞれを分析した。6月については令和4年と5年、10月については令和3年と4年を合わせて分析した。表2、表3である。

6月では「とけいのうた」「かたつむり」「にじ」「かえるのうた」「すてきなパパ」「あめふり

〔表2〕 令和4年、5年6月の幼稚園の歌(季節の歌・子どもの歌)

子どもの歌 曲名	2022年6月			2023年6月		
	順位	個数	%	順位	個数	%
とけいのうた	1	32	44	3	30	47
かたつむり	2	30	41	1	44	69
にじ	3	27	37	5	21	33
かえるのうた	4	26	36	2	31	48
すてきなパパ	5	20	27	6	15	23
あめふりくまの子	6	19	26	4	23	36
めだかのがっこう	8	10	14	11	8	13
どんないろがすぎ	9	9	12	14	6	9
さんぼ	9	9	12	8	11	17
おつかいありさん	11	8	11	17	5	8
つばめになって	13	7	10	14	6	9
ながぐつマーチ	14	6	8	22	4	6
小さいお手々	14	6	8	17	5	8
おおきな古時計	14	6	8	9	9	14
ぼくのミックスジュース	20	5	7	22	4	6
にじのむこうに	20	5	7	11	8	13
しゃぼんだま	26	4	5	7	12	19
あめふり	26	4	5	22	4	6

〔表3〕 令和3年10月、4年10月の幼稚園の歌(季節の歌など)

子どもの歌 曲名	2021年10月			2022年10月		
	順位	個数	%	順位	個数	%
とんぼのめがね	1	36	64	2	22	52
どんぐりころころ	2	33	59	1	26	62
まつぼっくり	3	26	46	5	13	31
やきいもグーチャーパー	4	25	45	3	21	50
大きな栗の木の下で	5	22	39	4	16	38
にじ	10	12	21	15	5	12
いもほりのうた	13	9	16	9	7	17
運動会の歌	13	9	16	19	4	10
きのこ	13	9	16	6	10	24
さんぼ	13	9	16	8	7	17
山の音楽家	17	8	14	10	6	14

くまの子」が、10月では「とんぼのめがね」「どんぐりころころ」「まつぼっくり」「やきいもグーチーパー」「大きな栗の木の下で」が両年度とも上位を占めており、それに続く楽曲もある程度の園数を占めている。この結果からそれぞれの季節に幼稚園で歌われている歌の傾向が読み取れる。

グラフ1は、新しい形式のアンケートで実施した令和5年10月の集計結果を示したものである。

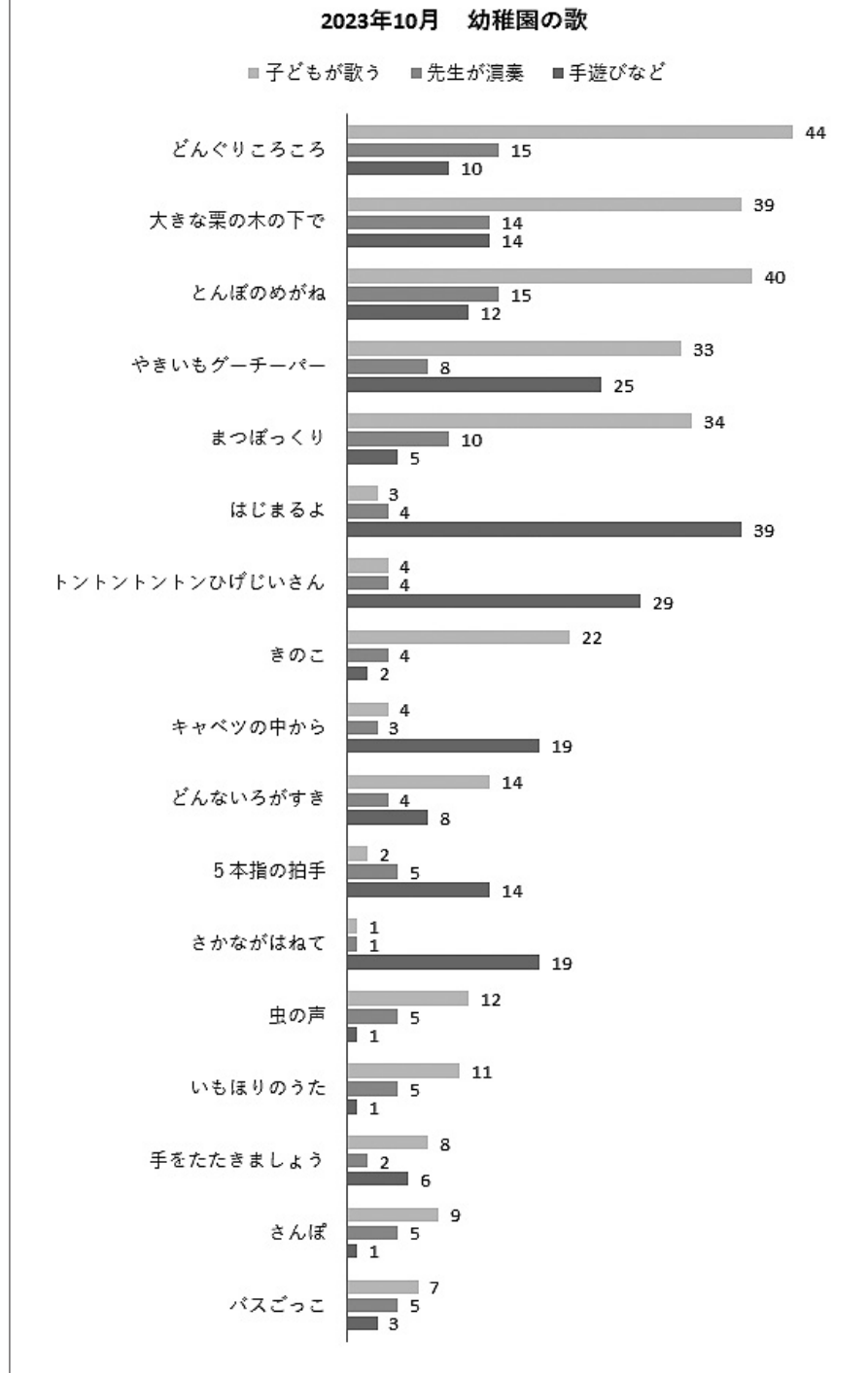
選択肢を主とする形式のアンケートに改善した結果「子どもが歌う歌」「先生が演奏した歌」「手遊びなどの歌」など、歌の用途、子どもの活動状況が読み取れるようになった。

子どもが歌ったり先生が演奏したりする歌は、以前の調査と同様に「とんぼのめがね」「どんぐりころころ」「まつぼっくり」「やきいもグーチーパー」「大きな栗の木の下で」の5曲が上位を占めている。

手遊びなどの歌は「はじまるよ」「トントントントンひげじいさん」「キャベツの中から」「さかながはねて」「5本指の拍手」などがみられる。「やきいもグーチーパー」のように子どもが歌いながら手遊びをする歌もあることが分かる。

10月の調査の令和3年から5年までの3年間を比較すると、年度によって対象となる幼稚園やその数、学生数が異なるものの、子どもが歌っている歌の上位は同様の傾向がみられる。このことか

〔グラフ1〕 令和5年10月の幼稚園の歌(季節の歌・子どもの歌・生活の歌)



ら調査結果は、幼稚園での歌の実態をある程度反映していると考えられる。

(4) 「生活の歌」の集計結果

令和3年10月の調査の上位には、季節の歌5曲に続いて「おかえりのうた」「おべんとう」「さよならのうた」と2曲の「おはようのうた」の生活

の歌5曲がみられる。その他にも「おかたづけ」

「はをみがきましょう」などがみられる。

生活の歌については、年間を通して一日の日課の中で歌われていることが予想されるため、令和4年と5年の6月と10月を合わせて分析した。

グラフ2は、回答数が多かった歌7曲を令和4年の6月と10月、令和5年6月の3回分の合計と令和5年10月の割合を示したものである。3回の内訳は表4のとおりである。

曲目は朝から帰りへと日課に沿って配列してある。

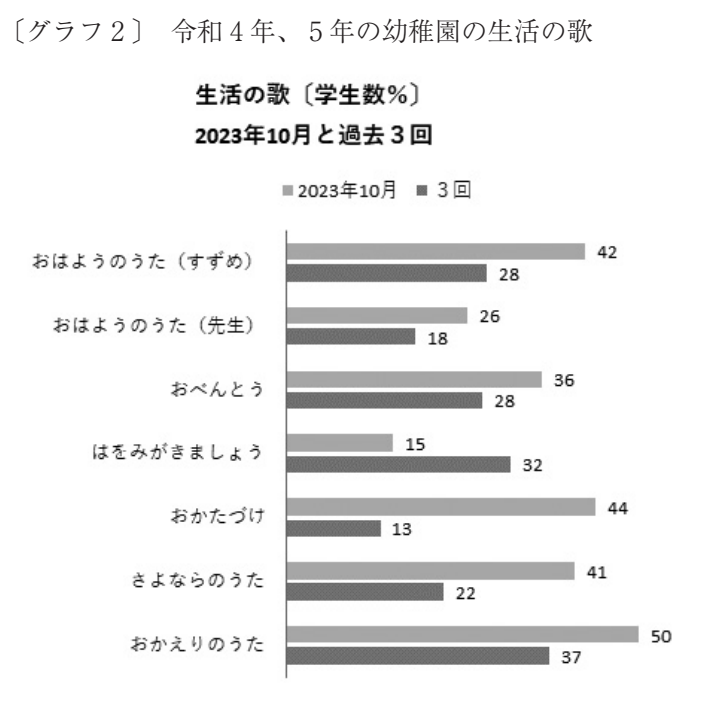
日課の中では、朝、昼食時、帰りの時間に歌が歌われているようであり、とくに帰りの時間は数値が高い。

朝の時間は歌詞が「おはようおはようすずめも…」と「せんせいおはようみなさん…」の2曲の「おはようのうた」、昼食時は「おべんとう」と「はをみがきましょう」、帰りの時間は「おかたづけ」「さよならのうた」「おかえりのうた」の全7曲である。

3 研究の成果と課題

本研究の対象とした実習後の学生へのアンケートは従来から行われていたが、集計と分析は今回が初めてである。これまでは、実習前の学生が事前準備として実習園の状況を知るために閲覧するという活用方法であった。学生にとっては有益であったが、教育課程や指導方法の改善という視点での活用はされていなかった。

本学での音楽の実技に関する科目は「保育と音楽表現」「子どもの歌と伴奏法」の2科目で、これらの科目では幼稚園や保育園で歌われ



る子どもの歌を教材としている。幼稚園での歌の実態を知るといふ本研究の成果を基に次のような教材の見直しが可能となった。

- ・生活の歌は、アンケートの各回ともに上位を占めた7曲(表4)を教材とする。
- ・季節の歌などについては、上位を占める「どんぐりころころ」「大きな栗の木の下で」「とんぼのめがね」「まつぼっくり」は現在も1年生の授業の教材となっているので、それ以外の「やきいもグーチーパー」「きのこ」「とけいのうた」「かたつむり」「かえるのうた」「にじ」「あめふりくまの子」「すてきなパパ」などの歌を教材として取り上げるようにする。

〔表4〕 令和4年、5年6月の幼稚園の歌 (生活の歌)

生活の歌 曲名	2022年6月		2022年10月		2023年6月		3回計	
	個数	%	個数	%	個数	%	個数	%
おはようのうた (すずめ)	20	27	12	29	19	30	51	28
おはようのうた (先生)	11	15	5	12	17	27	33	18
おべんとう	22	30	16	38	12	19	50	28
はをみがきましょう	32	44	1	2	24	38	57	32
おかたづけ	12	16	4	10	8	13	24	13
さよならのうた	16	22	7	17	17	27	40	22
おかえりのうた	24	33	19	45	24	38	67	37

なお、この調査は実習時期の6月と10月であるため、教材の選択にあたっては、限られた季節の実態であることに留意する必要がある。

研究の過程でアンケートの設問方法を改善し、令和5年10月にその書式で実施した結果、より正確な資料を収集することができた。来年度からは改善した書式で調査を続け、幼稚園や保育園のより正確な実態を明らかにすることと、それを基に教育課程と指導方法の改善に生かすことが今後の課題である。

研究の過程で、ゼミナールの学生にアンケート

の集計と分析にあたらせた。この活動を通して学生は、幼稚園での音楽活動の内容を理解するとともに、集計、表やグラフの作成に活用したパソコンの知識と技能の向上を図ることができた。

表5は令和4年6月から3回のアンケートでの上位の楽曲を示したものである。

〔表5〕 令和4年の2回と5年6月の幼稚園の歌（季節の歌、手遊びの歌など） *上位約25曲

2022年6月		2022年10月		2023年6月	
曲名	%	曲名	%	曲名	%
とけいのうた	44	どんぐりころころ	62	かたつむり	69
かたつむり	41	とんぼのめがね	52	かえるのうた	48
にじ	37	やきいもグーチーパー	50	とけいのうた	47
かえるのうた	36	大きな栗の木の下で	38	あめふりくまの子	36
すてきなパパ	27	まつぼっくり	31	にじ	33
あめふりくまの子	26	きのこ	24	すてきなパパ	23
はじまるよ	21	バスごっこ	19	しゃぼんだま	19
めだかのがっこう	14	さんぽ	17	さんぽ	17
どんないろがすき	12	いもほりのうた	17	バスごっこ	14
さんぽ	12	山の音楽家	14	おおきな古時計	14
トントントントン	11	トントントントン	14	めだかのがっこう	13
おつかいありさん	11	虫の声	12	にじのむこうに	13
つばめになって	10	ミッキーマウスマーチ	12	ニャニニョの天気予報	11
ながぐつマーチ	8	はじまるよ	12	どんないろがすき	9
小さいお手々	8	にじ	12	つばめになって	9
キャベツの中から	8	もみじ	10	おねむりの曲	9
かみどんがやってきた	8	こぎつね	10	小さいお手々	8
おおきな古時計	8	おもちゃのチャチャチャ	10	ことりのうた	8
ありさんのおはなし	8	運動会の歌	10	くじらのとけい	8
勇気100%	7	犬のおまわりさん	10	おもちゃのチャチャチャ	8
ぼくのミックスジュース	7	*調査人数は、 2022年6月は73名 2022年10月は42名 2023年6月は64名	おつかいありさん	8	
にじのむこうに	7		ミックスジュース	6	
ドロップス	7		ながぐつマーチ	6	
シューベルトの子守唄	7		たなばたさま	6	
あなたのおなまえは	7		大きな栗の木の下で	6	
			あめふり	6	